メーデーの歌

其一（アムール河の節）

聞け萬國の勞働者
とゞろき渡るメーデーの
示威者に起る足どりと
未來を告ぐる鬨の聲
汝の部署を拋棄せよ
汝の價値に目醒むべし
全一日の休業は
社會の虛僞を擊つものぞ
ながき搾取に惱みたる
無產の民よ蹶起せよ
今や二十四時間の
階級戰は來りたり
起て勞働者、ふるひ起て
奪ひ去られし生產を
正義の手もて取り返へせ
彼等の力、何ものぞ
我等の歩武の先頭に
かゝげられたる自由旗を
守れメーデー勞働者
守れメーデー勞働者

國と國とに隔つれど
賃銀奴隷の屈辱に
悲憤は同じ勞働者
國の境を今日こえて
團結力を試すべく
堅き握手を交すかな
史を按すればあゝ玆に
血をもて染めし三十年
今日メーデーの祝祭に
金盞酒はあらざれど
乾坤ゆるぐ喊の聲
未來は我等のものなるぞ
あゝメーデーよ、メーデーよ
飢餓窮乏の恐怖なき
自治勞働の新社會
建設すべき我々の
志氣を天下に示すべき
一年一度の祝祭よ
あゝメーデーよ、メーデーよ
奪ひ去られし人類の
正義と自由を萬民に
恢復すべき團結の
威力を世界に示すべき
一年一度の祝祭よ

其二（あゝ玉杯の節）

この世の富も繁榮も
われ等が汗の末になる
われ等が手をばおく時は
世界も闇となりぬべし
汗の値ひの貴さを
いざ遊民に示さばや
あゝメーデーよ、メーデーよ
地球をあげて共通の
プロレタリアの祝祭よ
歡び誇り、親愛の
勞働勝利の喊の聲
天地とゞろけ天も呼べ